

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: オンコルOK粒剤
供給者の会社名称、住所及び電話番号	
会社名称	: サンケイ化学株式会社
住所	: 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目6-11(第一下谷ビル)
担当部門	: 開発部
電話番号	: 03-3845-7951
FAX番号	: 03-3845-7950
緊急連絡先	: 同上
整理番号	: B - 208
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

化学品のGHS分類		
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分4
	生殖細胞変異原性	: 区分2
	発がん性	: 区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分2(神経系) 区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1

GHSラベル要素

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 飲み込むと有害

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

H350 発がんのおそれ

H371 神経系の障害のおそれ

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

： 【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P260 粉じんを吸入しないこと。

P264 取扱い後手をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P273 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

P280 保護手袋を着用すること。

： 【応急措置】

P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪いときは直ちに医師に連絡すること。

P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

P312 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

P330 口をすすぐこと。

P391 漏出物を回収すること。

： 【保管】

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

： 【廃棄】

P501 内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)こと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : ベンフラカルブ粒剤

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS No.	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
エチル-N-[2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチルベンゾフラン-7-イルオキシカルボニル(メチル)アミノチオ]-N-イソプロピル-β-アラニナート (一般名：ベンフラカルブ)	5.0	82560-54-1	(5)-5639	8-(4)-928
酸化アルミニウム	10~20	1344-28-1	(1)-23	—
結晶質シリカ	1.0~10	14808-60-7	(1)-548	—
鉱物質、色素等	残量	—	—	—

成分の含有量については営業上の秘密に該当します。

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の清浄な場所に移動させ、必要があれば医師の診察を受ける。
必要があれば酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合 : 可能であれば衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石けんを用いて十分に洗浄する。
刺激等の異常が認められる場合には、医師の診察を受ける。

眼に入った場合 : 速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
刺激等の異常が認められる場合には、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口腔内を洗浄する。
被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。
速やかに医師の診察を受ける。

医師に対する特別な注意事項 : 吸入したり飲み込んだ場合、カーバメート剤共通の中毒症状を呈する。いずれの場合でも、中毒の疑いがある場合には直ちに医師の診察を受ける。ベンフラカルブによる中毒に対しては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されている。2-PAM などのオキシムは無効であるので使用しない。患者の症状に応じて、硫酸アトロピン製剤の静脈注射又は筋肉注射を適度な間隔で繰り返す。硫酸アトロピン製剤の投与は中毒症状が消えるまで続ける。必要に応じて酸素吸入を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災の状況に応じた消火剤を使用する。
 初期火災 : 粉末消火剤、乾燥砂、霧状水
 大規模火災 : 泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災によって刺激性又は毒性のガスが生じるおそれがある。
- 特有の消火方法 : 消火作業は、風上から行う。
 火災時には初期消火に努める。
 周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

- : 必ず自給式呼吸器及び状況に応じた適切な保護具を着用し、安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置参照)を着用し、風上で作業する。
 屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

環境に対する注意事項

- : 河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- : 危険でなければ、漏れを止める。
 飛散したものを掃き集めて、密閉できる容器に回収する。
 プラスチックシートで覆い、散乱を防ぐ。
 漏洩物は元の容器には戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

- : 的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

安全取扱注意事項

- : 取扱い時には、ばく露防止のために適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置参照)を着用する。
 用途以外に使用しない。

接触回避

- : 皮膚や眼との接触は避ける。
 作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。

衛生対策

- : 作業着は再使用前に洗濯する。

保管 安全な保管条件

- : 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

安全な容器包装材料

- : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

- : 情報なし

許容濃度

日本産業衛生学会

結晶質シリカ(石英)

- : 吸入性結晶質シリカ
 0.03 mg/m³

酸化アルミニウム

- : 第1 種粉塵
 吸入性粉塵 0.5 mg/m³
 総粉塵 2 mg/m³

ACGIH

結晶質シリカ(石英)

- : TWA 0.025 mg/m³ (R)

設備対策

- : 工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 必要に応じて、個人用呼吸器保護具を使用すること。
- 手の保護具 : 必要に応じて、個人用保護手袋を使用すること。
- 眼、顔面の保護具 : 必要に応じて、個人用の眼の保護具、保護面を使用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて、個人用の保護衣を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 細粒
- 色 : 青緑色
- 臭い : データなし
- 融点／凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 非該当
- 引火点 : 非該当
- 自然発火点 : 非該当
- 分解温度 : データなし
- pH : 8.6(10%試料液)
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : データなし
- n-オクタノール／水分配係数(log 値) : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度及び／又は相対密度 : 0.82(見掛け比重)
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : データなし
- 化学的安定性 : 通常の保管条件では安定。
- 危険有害反応可能性 : 通常の保管条件では安定。
- 避けるべき条件 : データなし
- 混触危険物質 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : 火災時には、有毒な二酸化硫黄や一酸化炭素及び毒性を有する蒸気が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

- 経口(LD50 値) : 2520 mg/kg(雄マウス)、1944 mg/kg(雌マウス)
1078.8 mg/kg(雄ラット)、924.4 mg/kg(雌ラット)
- 経皮(LD50 値) : >2000 mg/kg(雄雌ラット)

カーバメート系殺虫剤に共通の中毒症状(初期症状として、頭痛、目眩、脱力及び嘔気が現れ、後に縮瞳、眼のかすみ、腹部痙攣、唾液の分泌過剰、過剰発汗、下痢及び嘔吐の症状が現れる)を呈すると考えられる。

- 皮膚腐食性／刺激性 : GHS 分類基準以下であり区分に該当しない
軽度の刺激性あり(ウサギ)

- 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : GHS 分類基準以下であり区分に該当しない
ごく軽度の刺激性あり(ウサギ)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: 区分 2 に分類される成分(結晶質シリカ)を 1%以上含むため、区分 2 とした。 (成分) 結晶質シリカ: 区分 2
発がん性	: 区分 1A に分類される成分(結晶質シリカ等)を 0.1%以上含むため、区分 1A とした。 (成分) 結晶質シリカ: 区分 1A
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 1(神経系)に分類される成分(ベンフラカルブ)を 1%以上 10%未満含むため、区分 2(神経系)とした。 区分 3(気道刺激性)に分類される成分(酸化アルミニウム等)を 20%以上含むため、区分 3(気道刺激性)とした。 (成分) ベンフラカルブ: 区分 1(神経系) 酸化アルミニウム: 区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)に分類される成分(結晶質シリカ等)を 20%以上含むため、区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。 (成分) 結晶質シリカ: 区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

甲殻類(オオミジンコ)	: EC50(48 時間) : 0.28 mg/L
藻類(ムレミカツキモ)	: EbC50(0-72 時間) : 284 mg/L

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 1 に分類される成分(ベンフラカルブ)の情報と含量から区分 1 とした。

残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物	: 関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。
汚染容器及び包装	: 関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	: 3077
	品名	: 環境有害性物質(固体)
	国連分類	: 9
	容器等級	: III

海洋汚染物質		: 該当
国内規制	陸上輸送	: 道路法等の規定に従う。
	海上輸送	: 船舶安全法の規定に従う。
	航空輸送	: 航空法の規定に従う。
特別の安全対策		: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。
緊急時応急措置指針番号		: 171(低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 第一種指定化学物質

: 2, 2-ジメチル-2, 3-ジヒドロ-1-ベンゾフラン-7-イル=N- [N-(2-エトキシカルボニルエチル)-N-イソプロピルスルフェナモイル]-N-メチルカルバマート(別名ベンフラカルブ)(管理番号: 221)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条)

: 2, 2-ジメチル-2, 3-ジヒドロ-1-ベンゾフラン-7-イル=N- [N-(2-エトキシカルボニルエチル)-N-イソプロピルスルフェナモイル]-N-メチルカルバマート(別名ベンフラカルブ)

結晶質シリカ

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2)

: 2, 2-ジメチル-2, 3-ジヒドロ-1-ベンゾフラン-7-イル=N- [N-(2-エトキシカルボニルエチル)-N-イソプロピルスルフェナモイル]-N-メチルカルバマート(別名ベンフラカルブ)

結晶質シリカ

がん原性物質(則第 577 条の 2)

: 結晶質シリカ(石英)

毒劇物取締法

: 該当しない

船舶安全法

: 有害性物質

航空法

: その他の有害物件

水質汚濁防止法

: 指定物質(法第 2 条第 4 項、施工令第 3 条)を含む

農薬取締法

: 登録番号 第 22787 号(登録: OATアグリオ株式会社)

16. その他の情報

参考文献

- ・ JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法
- ・ JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 — ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE-CHIRP)
- ・ OATアグリオ株式会社「オルコンOK粒剤」SDS(改訂日: 2023 年 6 月 30 日)

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の実用を前提としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。